

\*\*\* 4月号(その2) \*\*\*

新入生も、4月の中旬になると少し新生活に慣れてくるころです。このタイミングで、フレッシューズキャンプが行われました。今回はこのフレッシューズキャンプのようすを中心にお伝えします。

◆1年次生フレッシューズキャンプが行われました

4月17日(水)~18日(木)、足柄ふれあいの村において1泊2日の日程で1年次生のフレッシューズキャンプが実施されました。

まず「上級学校見学」として産業能率大学湘南キャンパスを訪問して、大学の先生の講義を聴きました。さらに、

そのまま大教室をお借りし、本校独自のプログラムとして、高校生活に関するオリエンテーションを行いました。3年後の自分の進路、その実現のために必要な科目履修の概要を



学び、また授業中のノート

設備の整った大学5号館の大教室をお借りして高校生活を充実させるための学習をしました。

の取り方や、毎日の過ごし方などについての話もありました。実際に大学を見て大学の先生のお話を聞いたので、3年後の進路希望を実現するためには高校生活をどのように過ごすべきか、目標を持った生徒も多いようです。生徒はメモを取りながら、真剣に取り組んでいました。

オリエンテーション終了後は、産業能率大学の学生より施設・授業見学の案内を受けました。また、学食にお邪魔して昼食をとり大学生気分を味わうこともできました。



宿泊した「足柄ふれあいの村」では、到着後15:30~17:00まで、さらに、夕食・入浴後は21:00~、各担当の教員から学習ガイダンスが行われました。



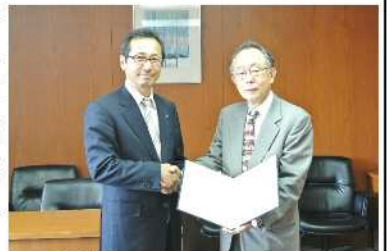
2日目午前のウォークラリー後は、薪を焚いてのカレー作り。ちょっと大変でしたが味は大満足でした。

2日目は、親睦のためのプログラムとして足柄ふれあいの村から大雄山最乗寺へ班ごとに往復するウォークラリーと、野外炊事でのカレー作りが行われました。野外炊事では火おこしと調理をうまく分担して手早くカレーを作る班も見られました。多少のおこげや芯の残ったご飯はありましたが、クラスでの交流ができました。

入学間もない時期で行ったこのフレッシューズキャンプのプログラムが今後の生活に活かされることを望みます。

◆産業能率大学との高大連携調印式が行われました

4月17日(水)、産業能率大学湘南キャンパス(神奈川県伊勢原市)において、本校と産業能率大学との教育交流協定書への調印式が行われました。



調印式会場にて。原田雅頭 産業能率大学学長(写真右) 浅野英治 本校校長(写真左)

産業能率大学とは、今後高校教育と大学教育の活性化を図るため、大学の講座の聴講生受け入れや、大学の教員による高校への出張講義などを行い、さらに教育に関する情報交換や教育連携の研究なども行う予定です。

産業能率大学にはすでに教職員研修などでお世話になっていますが、今後はこの教育連携により、さらに積極的に交流を図っていきたいと考えています。

本校ではこれまでに、桜美林大学、岩崎学園、神奈川大学、関東学院大学、湘北短期大学、多摩大学、日本大学生物資源科学部、文教大学との高大(高専)連携が締結されており、様々な教育交流が行われています

◆研究推進校に指定されました

神奈川県では平成25年度から3か年の計画で、「県立高校教育力推進事業ver. II」をスタートさせます。本校は、茅ヶ崎北陵高校、七里ガ浜高校、などとともに「確かな学力向上推進」をテーマとした研究推進校に指定されました。(全県では同部門11校指定)



本校は、平成22年に単位制普通科高校として開校。1コマ90分を単位として授業を行っています。90分の時間枠を最大限活用し、学習をどのように深化させ、生徒が自ら学ぶ姿勢を確立していくのか・・・これらの課題を、生徒が主体的に取り組む能動的学習という意味を持っている「アクティブラーニング」をキーワードに研究を進めていきます。

教育委員会発表の全体計画の概要

◆生徒総会が開かれました

4月30日(火)、全校生徒による生徒総会が開かれました。生徒総会は生徒会活動の中で、もっとも重要な会議です。当日は、9月の「Festa 清流」、3月の「合唱コンクール」などの今年度事業計画とともに、各部活動の支援費を含む予算案が可決されました。これで、平成25年度の生徒会活動がいよいよ本格的に開始されることとなります。

県内でもトップクラスの加入率を誇る部活動や生徒会主催諸行事が今年度もさらに充実していくことを期待したいと思います。



議長団と本部役員が議事を進行していききました。

(文責 副校長・勝山)